

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

405

ふりがな 氏名	たまたに ひろお 玉谷 宏夫					
所属先	所属先名称	ビックオ				
	役職名	研究員				
専門分野	捕獲手法 <u>侵入防止技術</u> 周辺環境整備 地域合意形成 <u>野生動物管理（生息調査含む）</u> 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ ）					
対象鳥獣	シカ	イノシシ	サル	クマ（ <u>ツキノワグマ・ヒグマ</u> ）		
	ハクビシン	アライグマ	アナグマ			
	カラス	カモ	ヒヨドリ	スズメ	ムクドリ	
	その他鳥獣（ ）					
対応可能地域	全国	北海道	東北	<u>関東</u>	北陸	東海
	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
	<u>その他※特定の都道府県、地域（</u>			長野県、群馬県		
免許及び資格	<u>狩猟免許</u> （銃：取得年 年、 <u>わな</u> ：取得年 平成24年）					
	鳥獣保護管理（ ）					
	鳥獣保護管理士（ ）					
	その他（ ）					

活動実績

活動期間	平成15年4月～令和3年6月					
地域	長野県、群馬県					
対策の種類 ※該当に○を記入	捕獲手法 <u>侵入防止技術</u> 周辺環境整備 地域合意形成 <u>野生動物管理（生息調査含む）</u> 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ ）					
対象獣種 ※該当に○を記入	シカ	イノシシ	サル	クマ（ <u>ツキノワグマ・ヒグマ</u> ）		
	ハクビシン	アライグマ	アナグマ			
	カラス	カモ	ヒヨドリ	スズメ	ムクドリ	
	その他鳥獣（ ）					
活動の内容	軽井沢町から委託を受けたツキノワグマ対策事業や長野県のクマ対策員制度において、人とクマの共存に向けた対策や調査に従事している。ゴミや食料、農作物などの誘引物の管理、緩衝帯での環境整備やクマの追い払い、奥山での広葉樹植樹によって、両者のすみ分けを実現させてきた。地域住民からの理解を得るための普及啓発活動にも力を入れている。このほか、シカ・イノシシへの捕獲圧の上昇に伴うクマなどの錯誤捕獲の増加に対し、麻酔銃を使ったわなからの解放作業に年間100回以上従事している。					